

今後目指すべき地方財政の方向と 平成25年度の地方財政への対応についての意見(概要)

平成25年1月18日
地方財政審議会

はじめに ～地域の再生を実現するために～

- 「地域のことは地域の住民が決める」という地方自治の考え方に立ったまちづくりや住民参加が、この国の基礎を形づくっている。
- 地域が再生することは、日本の再生にほかならない。地域再生を実現できる地方税財政の仕組みが不可欠。
- 地方税と地方交付税により、地方自治体が、生活の安全・安心のための取り組みや、経済活性化へチャレンジすることで、地域は元気になる。
- 地方税制については、平成24年10月22日の意見で示したとおり。

第一 今後目指すべき地方財政の方向

- 地域経済の活性化なくして日本経済の再生は見込みがたく、地域の元気を創造し、地域からの経済成長に向けた取り組みを促す必要。国は、地方自治体が主体的に判断し、創意工夫を發揮できるようにすべき。
- 社会保障の現物サービスの多くは地方自治体を通じて提供され、国の制度と地方単独事業の2つのセーフティネットが組み合わさることによって、社会保障制度全体が充実強化。住民生活の安心の確保のため、地方自治体が地域の実情に応じた現物サービスを提供できるよう、税収が安定的な地方税制度の構築、一般財源総額の確保と、国による義務付け・枠付けの見直しが必要。
- 東日本大震災の復旧・復興ニーズは多様かつ膨大であり、地方自治体が的確に対応できるよう、財源を確保すべき。復興交付金による柔軟な対応や、震災復興特別交付税の継続が必要。東日本大震災の教訓を踏まえた対応として、大規模災害に備えるための事前防災・減災対策の強化、更新期を迎える公共施設への対処、災害対策法制について使い勝手のよい制度への見直しが必要。
- 地域経済の成長などの当面の政策課題について、地方自治体が、地域の実情に応じ、自らの責任で自ら決定することが必要。このため、地方分権改革を推進することが必要。
- 地方交付税の財源保障機能と財源調整機能は一体不可分。総額を確保し、財源保障機能及び財源調整機能を十分發揮できるようにする必要。
- 平成24年度に導入された地方債の事前届出制は、地方自治体の主体的・機動的な資金調達に貢献。今後、地方債に対する国の関与は、届出制度の運用状況等を踏まえつつ、必要な見直しを進めるべき。

- 国庫補助負担金について、財源の充実を図る「量」の確保だけでなく、国の関与を減らす「質」の改善が必要。国庫補助負担金が増加する結果、国が地方に対する関与を強めることとなってはならない。国庫補助負担金に係る地方自治体の超過負担は、すみやかに完全解消すべき。
- 地方財政が厳しい中、歳出面、歳入面での努力により財源不足額を縮小すべき。各地方自治体は、財務情報の提供等を通じて住民への説明責任を果たす必要。財務情報は、財政運営への活用も図るべき。
- 地方公営企業等の抜本的改革の期限は平成25年度であるが、各企業は、抜本的改革後も経営のあり方について不断の見直しが必要。新地方公営企業会計基準の活用により、資産管理のあり方等を含む経営戦略を持つ必要。

第二 平成25年度の地方財政への対応

- 経済対策にあたっては、地方の負担に留意が必要。「地域の元気臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）」は、地方の負担に配慮した措置として評価。平成25年度は、地方交付税等の一般財源総額について、平成24年度の水準を実質的に下回らないよう確保する必要。交付税法定率の引上げ、国税5税の法定率分の交付税特会への直接繰入れが必要。
- 地方公務員の給与は、議会で十分議論された上で条例で定められるもの。そのあり方については、地方の意見を十分に聞いて慎重に対応すべき。政府として要請を行う場合にも、地方公務員の給与の決定の仕組み等を踏まえなければならず、また、給与水準の見直しが、単に国の歳出を抑制するために行われ、地方一般財源が削減されることは適切ではない。
- 東日本大震災の復旧・復興事業の地方負担分については、震災復興特別交付税により、被災自治体の財源を確実に確保すべき。
- 東日本大震災の被災自治体の今後の財政状況の悪化を防ぐ等のため、過去に高金利で借り入れた地方債の公債費負担の軽減を図る必要。
- 新地方公営企業会計基準の円滑な導入に向けた支援を行うべき。第三セクター等改革推進債の期限が平成25年度であり、抜本的改革を先送りすることなく、期限内に実施するべき。

おわりに ～未完の改革の実現に向けて～

- 平成5年6月、衆参両院で「地方分権の推進に関する決議」が全会一致で決議された。今年、決議が行われて20年の節目。
- 地方分権改革を「未完の改革」に終わらせないよう、改革の歩みを止めはならない。国・地方双方がその意義を再認識し、国民の共感の下で、最大限の努力を行うことを期待してやまない。